

この時期の平成30年度の気象と生育を振り返って

登熟期間は低温、寡照の日が多かったため、登熟に要する日数は平年よりも8日多く、成熟期は平年より大幅に遅れました。

営農技術情報 HO-O号

水 稲 (〇〇版)

平成〇年 〇月〇日発行
JA〇〇 〇〇営農センター
水稲生産部会〇〇支部
石狩農業改良普及センター

営農技術
情報の例

平成30年第2回適期刈取判定会が終了しました。機械類の整備などの準備は早めに済ませ、適期収穫に備えましょう。

1 生育・登熟状況

作況平均の成熟期は平年より6～8日程度遅れる見込みです。

表1 〇〇地区の生育状況 (調査ほ平均：中苗ななつぼし：9月15日現在)

	籾黄化率 (%)	成熟期
本年	67.0	9/22 (見込)
平年	85.0	9/16

※遅速は地域間・個人間でばらつきが大きい傾向です。

【収穫適期の判定方法】

- 1 整粒と青未熟粒に分け、整粒割合70～80%以上が刈り取り適期です。
- 2 1日あたりの整粒割合は、概ね2%程度ずつ増加します。
* 止葉が傷んでいる場合は、1%程度になります。
サビ粒が見られる場合は早期に収穫が必要です。

2 平成30年第2回刈取判定会(9/20)結果から見た収穫時期

表2 品種別およびその刈り取り予想《主要品種、複数点数持ち込み品種のみ抜粋》

品種名 *()は持ち込み点数	2回目:9月20日 〇〇検査場所		
	刈取適期予想日	平均	平均整粒歩合(%)
ゆめぴりか(14)	9/17～9/29	9/20	68.8(58.3～76.6)
きたくりん(2)	9/20～10月上旬	9/28	51.9(34.9～68.8)
ななつぼし(26)	9/17～10月上旬	9/25	55.4(23.3～72.0)
おぼろづき(3)	9/28～10月上旬	—	54.4(47.8～61.7)

*「適期」は整粒割合が1日2%ずつ増加すると仮定した場合の刈り取り予想日です。

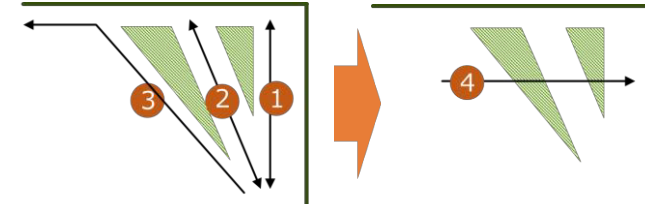
- ・第1回刈取判定会(9/14)を含めた総評としては、基幹品種の「ななつぼし」は適期が9月中下旬～10月上旬までの幅で個人差が大きく、「ゆめぴりか」は概ね9月下旬までの適期判定結果となっています。収穫判断は籾の外見だけでなく、必ず玄米で行いましょう。
- ・まだ青未熟・網下の多いサンプルも見られますが、刈り遅れるとサビ粒の発生で品質を落としますので注意しましょう。

秋も深まり日没が早まっています。
早めのライトオンで安全作業に努めましょう。

<収穫>

私はこうしてる！

収穫時にコンバインをかける時、田んぼの隅で急旋回するとほ場を痛めてしまうので、かけ方を工夫している。



- ◆田んぼの隅は、①→②→③の順(①と②はバックで戻る)に入る(後は通常どおり)
- ◆④刈取できない箇所()が出てくるので、そこは最後に逆から入る

<乾燥・調製>

基本こそ大切！

直接出荷の場合、2段乾燥は有効。1回目の乾燥後、しばらくすると水分が全体的に均一になり乾燥ムラがなくなる。本乾燥の時には乾燥効率があップする。



白未熟粒が多い米は美味しくないし、落等しやすい。直接販売するのなら、色彩選別機にかけない米を決して売ってはならない。あなたの信用を失う。



やって良かった！

登熟不揃いの米も手間をかけて選別すれば、商品価値が上がる。例えば、篩いの段階を増やして、中間米を作れば、優位販売ができる。最後まで商品価値を見いだそう。網目を分けることで、くず米も化けます。



【A氏】 網目1.95mm 15,000円/kg 網下米 8,000円/kg

ここで稼ぐ！

【B氏】 網目1.95mm 15,000円/kg 網目1.80 10,000円/kg 網目1.75 6,000円/kg

<収穫後のほ場管理>

やって良かった！

収穫後、ほ場を乾燥させることも大切。また、搬出できないなら稲わらは、すぐにすき込むようにしている。わらの水分があるうちに、すき込むと分解も早くなる。



【普及センターから補足】

～ほ場を乾燥させる意味→乾土効果とは～

土壌の乾燥によって微生物の活動が活発になり、土壌中に含まれる有機物の分解が促進され、植物が吸収しやすい窒素などの無機物(土壌養分)に変化することです。
地力窒素とも表されます。

これが乾土効果だ！



注) 左右それぞれの乾土と湿土は同じ水田土壌それぞれバケツに入れ、無肥料栽培した。

土壌診断、1年の反省、その他

【普及センターから解説】
～土壌診断書の見方～

土壌分析結果票（水稻）

サンプル番号 1147 2018年10月26日

氏名 _____ 農家番号 _____ 電話 _____ FAX _____ 採取年月日 2018年10月25日

住所 _____ 圃場名 _____ 土壌 低地土(湿) 土性 壤土(L) 腐植 含む

予定作物 水稻(全層+側条) 前作物 _____

備考 _____

1. 分析結果

分析項目	単位	分析値	基準値	適正の範囲	あなたの土壌	あなたの土壌の特徴
pH		5.9	5.5 ~ 6.0	5.5 ~ 6.0	●	低い (適) やや高い (高い)
ブレイリン酸	mg/100g	150	10 ~ 20	10 ~ 20	●	低い (適) やや高い (高い)
交換性石灰	mg/100g	19	80 ~ 150	80 ~ 150	●	低い (適) やや高い (高い)
交換性苦土	mg/100g	16	25 ~	25 ~	●	低い (適) やや高い (高い)
交換性加里	mg/100g	12	15 ~ 30	15 ~ 30	●	低い (適) やや高い (高い)
可給態ケイ酸	mg/100g	12	16 ~	16 ~	●	低い (適) やや高い (高い)
可給態窒素	mg/100g	13	-	-	●	低い (適) やや高い (高い)

CEC(me) 12 リン酸吸収係数 810 仮比重 0.72

2. バランス

分析項目	単位	分析値	基準値	適正の範囲	あなたの土壌	あなたの土壌の特徴
石灰飽和度	%	35	-	-	●	低い (適) やや高い (高い)
塩基飽和度	%	44	-	-	●	低い (適) やや高い (高い)
石灰・苦土比	当量比	5	-	-	●	低い (適) やや高い (高い)
苦土・加里比	当量比	3	2 ~	2 ~	●	低い (適) やや高い (高い)

3. 微量要素分析結果

分析項目	単位	分析値	基準値	適正の範囲	あなたの土壌	あなたの土壌の特徴
遊離酸化鉄	%	-	2.0 ~	2.0 ~	●	低い (適) やや高い (高い)
熱水可溶性矽素	ppm	-	-	-	●	低い (適) やや高い (高い)
可給態亜鉛	ppm	-	-	-	●	低い (適) やや高い (高い)
可給態銅	ppm	-	-	-	●	低い (適) やや高い (高い)
易還元性マンガ	ppm	-	100 ~ 1,000	100 ~ 1,000	●	低い (適) やや高い (高い)

- (1) 土壌分析結果票には、一般に各分析項目（土壌養分）の基準値（適正值）と分析値、分析値の評価が記載されています。
- (2) 例えば、ブレイリン酸の分析値150mgは、乾土100g中にリン酸が150mgあり、10a当たり換算150kgのリン酸が蓄積し、過剰であることを示しています。
※ この例は、長年土壌診断を実施しておらず、リン酸が蓄積したものである

施肥設計票（水稻）

サンプル番号 1147 (肥料銘柄の在庫については、経済課に確認して下さい) 2018年10月26日

氏名 _____ 農家番号 _____ 電話 _____ FAX _____ 採取年月日 2018年10月25日

住所 _____ 圃場名 _____ 土壌 低地土(湿) 土性 壤土(L) 腐植 含む

予定作物 水稻(全層+側条) 前作物 _____

備考 _____

1. 必要な要素量

要素	窒素	リン酸	加里	苦土	ホウ素
全層	3.0	4.0	4.0	0.0	0.0
側条	4.0	4.0	4.0	-	-

2. 土壌改良資材施用量

資材名	施用量 (kg/10a)	価格の目安 (円/10a)
pH・ケイ酸改良資材	86	2,322
リン酸・苦土の改良資材	22	2,138

3. 施肥ガイドに基づく施肥対応要素量

要素	リン酸	加里	苦土	ホウ素
全層	3.0	0.0	7.0	1.0
側条	4.0	4.0	4.0	-

5. 所見
本施肥例は側条窒素を4kg/10aとし、全層施肥窒素量から0.5kg/10a減肥した。

- (1) 施肥設計票には、土壌分析結果に基づいた施肥設計例が記載されています。
- (2) 例えば、ブレイリン酸の分析値は基準値より大幅に高いので、リン酸施肥が不要となる設計例となっています。

匠 土壌診断は営農の基本。土壌のクセを掴もう。

<土壌診断>

私はこうしてる!

土壌診断は春先の忙しい時にやるより秋に行うと良い。秋なら土壌のクセを掴むために考える時間がある。また、「何年かに1度」ではなく「毎年」実施すると、データが蓄積されるので、変化が出たときに要因の分析ができる。

どうしても診断点数が多くなって大変な時、私の場合は、3年に1回、同じ土質の水田団地毎に土壌診断を実施している。大区画水田では、同じ区画の中でも土質が異なる場合があり、土壌診断を行うと意外と分析値が異なる場合もあるので注意だ。

基本こそ大切!

pHを矯正する場合、診断書に書いている土壌改良資材施用量は、改良深10cmが基準だけど・・・知らない人が結構多いかも。実際の耕起深が15cmなら投入量は1.5倍になる（耕起深に応じた倍率で施用<倍率=耕起深÷10>）

<1年の反省>

基本こそ大切!

反省はその年のうちに。反省とは落ち込むことではなく、失敗から学び、次に活かすこと。

やって良かった!

※ p 2 より再掲

1年を通じ、何かに気づいた時はすぐスマホで写真を撮るクセをつけている。記録を残しておくと思出しやすく、次の計画を考える時に役立つ!

◆今後の営農に活かすためのコラム◆

～無代かきの取組について～

近年、無代かき移植栽培が増加しています。作土を砕土し、鎮圧した後に入水、1週間ほど湛水状態を保ち、植床を膨軟にしてから通常通り移植します。苗が抜けやすくなるため、基本的に成苗ポットを用います。

<メリット>

- ・代かき後のゴミ上げが激減します。
- ・代かきによる作土下の鋤床層の練り込みが無いので、透水性が確保されます。
- ・稲の根張りが良くなり、異常還元（ワキ）による害が軽減されます。
- ・ほ場の透排水性が良くなり、田畑輪換に適します。

<デメリット、留意点>

- ・砂質土壌など透水性の良い土壌では、減水深過大となり生育が停滞します。
- ・除草剤の土壌浸透による葉害が懸念されます。
- ・根の活性が高まり、根が深く入るので、土壌窒素を過剰吸収しやすくなります。
- ・レベラーを使うので、雨が降ったら作業できません。
- ・春先は、他の機器と混線することもあります。